



令和 3 年 2 月号 吉良川老人クラブ末広会

サンシュユ（山茱萸）の花

春に葉が出るより先に花を咲かせ、株全体を鮮やかな黄色に染める落葉高木。花は、黄色い小花が30個ほど集まり直径2～3cmくらいの小さな花序になって、春一番に黄金色の花を咲かせることから「春黄金花（ハルコガネバナ）」と呼ばれます。また、秋にはグミの実に似た真っ赤な実をつけ、その実が珊瑚のようにも見えるため「アキサンゴ」とも呼ばれます。中国と朝鮮半島が原産で、江戸時代中頃に薬用植物として日本に渡来したと言われています。

今月のお知らせ

定例会は二月十九日（金）

十時より

室戸市老人クラブ連合会より
中学校、小学校、保育園へ花の
贈呈を行うことになりました。
十九日に準備をします。
手袋、スコップを持参してください。
末広会は三月の定例会に寄せ植えを
します。各自持ち帰りです。

※

みんなで作る広末便りです。
エッセイや、川柳、写真、
皆さんの思い出話など
どしどし投稿下してください。

会員川柳

断捨離をやったまるかもつたない

この時代ばあが寄つて政治論

みそ汁のかぼちやがおいしく今朝がある

霜柱 昨夜の凍ての忘れもの



又ひとつ年をもらって重たい私
令和三年が明けた。毎年帰省していた娘家族も
コロナ禍でストップ。
何十年振りの老夫婦だけの正月を、淋しいなが
らのんびりと過ごし、ご無沙汰続きの年賀の
友人と気持ちをつないだりして過ごした。
年寄りの目標は教養（今日は用事がある）、
教育（今日は行く所がある）とよく言われる。
八十も過ぎると体が重くて、速やかには実行
しにくい。母を思い出したけれど、この年に
母は逝っていた。ここまで来ると行き先は見
えてきて、日々の暮らしはゴールまでの旅の
日々。
残された余生をどう生きるか考えてみる
夢は無理でもこれからの一日一日小さな幸せを
みつけて楽しもう。わずかな事でも、まわりの
仲間の元氣もうれしい。動ける間は何とか動い
て、デジタル化もスマホも無縁の私は昭和の
まんまだけれど。今からでも“よっしゃ”明る
いかわいらしいババアを心がけて。そうそう
マスクの中でも誰かに会えばにつこりするこ
と。



まるで私たちみたい！！



芋焼きゆうよ



よ！男前



ひとやすみ



唄い始めて唄い終わり



小学生に雑巾どうぞ



子供たちよりありがとう



いくつになっても勉強！勉強！

